

# 日本子ども虐待防止学会

第23回学術集会ちば大会

JaSPCAN  
CHIBA

すべては子どもの笑顔のために  
～守り・育み・社会へ～



会期: 平成29年(2017年)12月2日(土)~3日(日)

会場: 幕張メッセ国際会議場 (JR京葉線 海浜幕張駅徒歩5分 東京駅から約30分)

大会長: 金子重紀 千葉明徳短期大学学長・弁護士

※プログラム募集開始は平成29年3月頃を予定しております

主催 一般社団法人日本子ども虐待防止学会  
日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会実行委員会

お問い合わせ 日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会事務局  
e-mail:jaspican.chiba@gmail.com

絵: ハッピーアート・浅香良太

## 大会長あいさつ

次代を担う子どもたちに対する虐待は、心身の成長及び人格の形成に深刻な影響を与える重大な人権侵害であり、我が国の将来にも影響を及ぼす大きな問題として、社会全体が一丸となって取り組む必要があります。



このたび、平成29年第23回学術集会を、千葉県で初めて実施することといたしました。ちば大会では、「すべては子どもの笑顔のために～守り・育み・社会へ～」をテーマに、特別講演、国際プログラムをはじめ、大会プログラム委員会が企画する大会企画シンポジウムなどの充実したプログラムを企画しております。

当学術集会の開催は、関係者の緊密なネットワークの構築、最先端の研究成果に触れるによる専門職等の資質向上、意識啓発等、子どもの虐待防止に資する大きな成果が見込まれる貴重な機会となるものであり、また、全国の取り組みが一層充実されるものとなるよう、提言を全国に発信していきたいと考えております。

千葉で皆様にお目にかかれますことを楽しみに、お待ち申し上げます。

大会長 **金子重紀**

千葉明徳短期大学学長 弁護士

## 主要プログラム

→ 国際プログラム 英国Early Intervention Foundationより講師招聘予定

→ 大会企画シンポジウム (現在鋭意企画中)

- ✓「子ども虐待をめぐる行政の今と未来」
- ✓「子ども虐待とエビデンスの架け橋～エビデンスの構築から利用まで～」
- ✓「地域における子ども虐待予防のこれから」
- ✓「社会的養護の子どもの参加・参画をめぐって」
- ✓「子どもの死因究明制度の普及に向けて」
- ✓「10年後の他機関連携を見据えた多職種連携教育」
- ✓「日本における家族を支える虐待対応実践の最前線」 等

→ 教育講演

子ども虐待に関わる幅広い分野から、10の教育講演を企画しています。

